

第1回公民館講座

みんなで楽しもう!

モルック大会



老若男女、みんなが楽しめるモルックは、フィンランド発祥のスポーツです。
棒（モルック）を投げてピン（スキttl）を倒して点数を競うゲームです。
ご家族・お友達で、どうぞお気軽にご参加ください。

【日時】 5月16日（土） 13時開始

【会場】 中央公民館ホール

【対象】 小学生以上の村内在住の方、在勤の方

【参加費】 無料

【申し込み】 1チーム3～4名でお申し込みください。

募集は、9チームまでとします。（受付先着順）

右記の申込フォームから、5月11日（月）までにお申し込みください。

※楽スポあすかオリジナルルールで行います。



▲申込フォーム

公民館だより

【申し込み・問い合わせ】 NPO法人楽スポあすか ☎54-2810（平日9時～17時）

令和8年度 公民館クラブ一覧

名称	活動日	時間	場所
明日香ギタークラブ	第1・3月曜	13:00～16:00	(別館) 研修室1
婦人会編物教室	第1・3月曜	9:00～12:00	会議室
with	第2・4木曜	9:00～13:00	(別館) 研修室1
明日香絵画クラブ	第4火曜 ただし 3月9月12月は 第3火曜日	9:00～12:00	研修室2
明日香写真クラブ	第2・4火曜 (月2回)	9:30～12:00	研修室3
キルトサークルA・A	第1・3火曜 (但し8月・12月は 活動なし)	10:00～12:00	(別館) 研修室1
習字教室	火曜・木曜	火曜13:00～17:00 火曜18:00～19:30 木曜13:00～17:00	和室
ラ・カラ明日香フラメンコ サークル	第2・4火曜	13:00～14:30	(別館) 研修室1
たちばな編み物クラブ	第1・3水曜	13:00～16:00	会議室
明日香カリグラフィ クラブ	第3水曜	13:30～15:30	研修室2
飛鳥短歌教室	第4水曜	13:30～16:00	1F 会議室
飛鳥吟詩会	土曜(月3回)	18:00～20:00	防災施設 1F
歌謡教室	第2・4木曜	13:00～15:00	ホール

名称	活動日	時間	場所
明日香中央書道クラブ	第1・3木曜	13:00～15:00	研修室2
万葉集を楽しむ会	第4木曜	13:00～15:30	防災施設
大正琴クラブ	第2・4金曜	10:00～11:30	会議室
着付教室 装い会	第2・4金曜 (8月休み 12月第4金曜日休み)	9:00～12:00	和室
グループかむなび	第2・4金曜	13:30～15:30	(別館) 研修室1
平田編物教室	毎週金曜日	13:00～16:00	(別館) 和室
オカリナ「ひだまり」	第3金曜	13:30～16:00	会議室
砂絵クラブ	第3金曜	9:30～11:30	会議室
飛鳥太鼓	第2・4土曜	18:00～21:30	ホール
お話し会「赤ずきん」	不定期	—	—
尺八 竹友会	不定期	9:00～11:30 または 13:30～16:00	和室
あすか児童合唱団	毎週日曜	9:20～12:00	(別館) 研修室 1・2
ひと筆で楽しむ会	毎月1回水曜	午前中	—
明日香てんこくクラブ	毎月第1水曜	13:30～15:30	研修室2
明日香句会	不定期	不定期	会議室

公民館からのお知らせ

問い合わせ：明日香村教育委員会事務局 教育推進課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】5月10日(日) 13時～15時

【場所】中央公民館1階 ホール
〒634-0141

明日香村大字川原91-1

【講師】関西大学文学部教授 乾善彦

【内容】古代人の「ふるさと」飛鳥

皆さまのご受講をお待ちしています。

※村内在住の方、関西大学学生、本講座に興味のある中高生は受講料無料です。

【問い合わせ】関西大学教育後援会

☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

短歌

- ・ 睦び月庭の桂と柿の木は
裸木となりて生命を守る
上中 幾代
- ・ 歌会を終えて訪ねた友の家
ほほえみかける庭の蠟梅
田原 隆子
- ・ 明日香村のビニールハウス覗き見る
真つ赤な苺は並びて待つや
田中 祥子
- ・ 頭・首・胸・腰の骨人造る
圧迫骨折我は動けず
勝川 京子
- ・ 小雪舞う寒風の空泳ぐ風
お尻ふりふり高く高く
豊田 絹代
- ・ 炭焼きの煙しみ込む緑衣着に
春はまだかと里山クラブ
松本 義夫
- ・ 甘樫の桜のつぼみまだ固く
春よこいこい桜の丘へ
山本 修
- ・ まだ寒き梅の小枝に陽を受けて
はやもほころぶ蕾三つ四つ
井本 智子
- ・ 片恋の淋しき纏う片時雨
椿の花は赤を増しゆく
藤川 幹代
- ・ その昔バイトは奈良の映画館
我にもありし青春時代
脇本 雅子
- ・ ストーブのやかんの湯気のしんしんと
北風小僧が戸を打つ夕べ
友田 昌子

- ・ 銃弾に倒れし人の意志を継ぐ
アフガンの人自らの立つ
藤川 幹代
- ・ 庭先の老木もみじ杖をつき
初雪背負う雪化粧して
森本 武志
- ・ 雪道に残る足跡ひとり
いぬ一匹が山へと向かふ
米田 郁夫
- ・ 夜な夜なに病み猪が来る過疎の村
雪はしいんと地上を統ぶる
米田 靖子
- ・ 桃の節句可愛い曾孫に癒やされて
食すちらしも一味違う
辰巳 陽子
- ・ 反比例芽ぶきの春に義弟妹逝く
ふと立ち止まれば我は奥の細道
山本 能世
- ・ 若き日にヨコ織り学びし業ありし
能登の励みは吾の安らぎ
森本 博文
- ・ 二人して残されし姉と待ち合わせ
元気でいてねと励まし合って
西村 道子
- ・ 沈丁花香りほのかに漂へる
路地に子猫がたわむれてをり
森田 幸子
- ・ 愛知よりひ孫産まれたよお目出とう
遠くへ行けぬ年重ねし今
吉田 清子
- ・ 春しぐれ止みプランター覗きこむ
か細き顔の金盞花の芽
脇田 智子
- ・ ほんのりと桃の色なす一枝の
荅ほころび今日 ひなまつり
奥 まさみ